
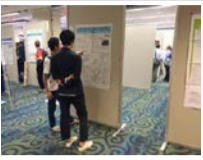










平成29年度短期海外研修プログラム実施実績

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣/連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
1	語学研修型	ハンブルク大学ドイツ語サマースクール	ドイツ		ハンブルク大学	8/1-9/1	32	全国から集まる日本人学生約60名、韓国・台湾人学生約40名と1カ月間生活を共にし、ネイティブ講師によるレベル別のドイツ語講座、ドイツ文化体験、歴史的遺産等へのフィールドトリップに参加する。語学力や異文化理解力を身に付け、将来的に地域の国際交流に貢献できる人材やグローバルな環境で活躍できる人材を育成する。	全学 (ドイツ語学習者が1年以上ある学生)	3	2
2		語学研修(英語)	オーストラリア		サザンクロス大学	8/5-9/3	30	大学附属の語学学校に所属し、ワイルドパークへの訪問、サーフィン体験、地元の学校での現地学生との交流など、広くオーストラリア文化に触れるアクティビティへの参加を通して英語で異文化について学ぶ。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	1	2
3		語学研修(英語)	ニュージーランド		ワイカト大学	8/12-9/3	23	大学附属の語学学校に所属し、午前中のGeneral Englishに加え、週2回は午後IELTS Preparation、EAP skills for university studies、Focus on reading and writingなどの選択クラスを受講する。週23時間の集中講座やホームステイなど、短期間でも集中的に英語力の強化が可能な環境に一定期間身を置くことで、確実に語学力の向上を目指す。	全学	5	2
4		語学研修(英語)	アメリカ		ポートランド州立大学	8/24-9/17	25	大学附属の語学学校に所属し、午前中は英会話や発音、ボキャブラリーなど日本人の苦手な点に特化した授業、午後は「アメリカンポップカルチャー」、「ポランディアリズム」、または「ホスピタリティ・マネジメント」のテーマに基づく課外活動に参加する。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	16	2
5		はじめてのタイ語研修プログラム	タイ		スィーバトゥム大学	9/7-9/21	15	午前中はスィーバトゥム大学でタイ人講師による初級タイ語やタイ文化の授業を受講し、挨拶、文化、時間・数、商品と買い物等について、シチュエーション別にタイ語を習得する。午後はテーマ、調査先、調査方法を各自で設定して海外社会調査(基礎)を行い、レポートを作成する。これらの活動や現地学生との交流を通して、コミュニケーション力、異文化理解力に加え、日本人としてのアイデンティティを養う。	全学	12	2
6		語学研修(英語)	オーストラリア		ディーキン大学	2/10-3/4	23	大学附属の語学学校に所属し、文法、語彙、発音、流暢さ、コミュニケーションスキル、日常の様々な状況で使える実践的英語など、4技能のスキルを総合的に伸ばすための授業に参加する。一人一人の語学レベルに合った9段階のクラスに分かれ、週25時間(自習時間含む)、平均15名の少人数制のインターナショナルクラスで学び、滞在中はホームステイを通して、短期間で集中的な英語力の向上を図る。	全学	4	2
7		語学研修(英語)	アメリカ		ポートランド州立大学	2/15-3/11	25	大学附属の語学学校に所属し、午前中は英会話や発音、ボキャブラリーなど日本人の苦手な点に特化した授業、午後は「アメリカンポップカルチャー」、「ポランディアリズム」、または「ホスピタリティ・マネジメント」のテーマに基づく課外活動に参加する。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	8	2
8	語学研修型 文化体験・交流型	Summer Enrichment Programme	マレーシア		マラヤ大学	8/5-8/26	23	マラヤ大学が主に日本の学術交流協定校の学生を対象に実施している短期研修。レベル別の英語研修や文化体験、フィールドトリップ、現地学生との交流イベント等への参加を通して、英語力を総合的に強化するとともに、マレーシアの文化・社会について英語で学ぶ。滞在中は現地学生パティと寝食を共にすることにより、両国の相互理解及びグローバル人材としての知識・教養を深める。	全学	7	2
9						2/17-3/10	22			11	2
10	文化体験・交流型	2017 PKNU International Summer School	韓国		釜慶大学校	8/6-8/19	14	釜慶大学校が日本の学術交流協定校の学生を対象に実施しているサマースクール。午前中は韓国語・文化の授業、午後は韓国文化体験や釜山市近郊へのフィールドトリップに参加する。授業は英語で行われるが、滞在中は日本語のできる韓国学生がパティとしてサポートしてくれる。日韓学生の密な交流を通して、韓国文化・社会への理解及び両国の相互理解を深め、より広い視野を養う。	全学	1	1
11		2017年度 Korean Summer Session	韓国		東亜大学校	8/6-8/19	14	東亜大学校が日本の学術交流協定校の学生を対象に実施しているサマースクール。全国から集まる日本人学生と共にレベル別の韓国語講座の受講、伝統衣装、音楽、食文化の体験、歴史的遺産へのフィールドトリップ等を行う。東亜大学校の学生パティや日韓学生グループメンバーとの密な交流を通して、韓国文化への理解を深める。	全学	1	1
12		文化交流・産業調査プログラム	タイ		チャンカセーム・ラチャパット大学	8/16-8/30	15	日本人学生とタイ人学生が数名ずつでグループを組み、与えられたテーマに基づく産業フィールド調査活動や異文化研修を行う。フィールド調査活動は、複数のワークショップにより段階的に完成度を高め、グループで成果発表を行う。ビジネス日本語学科で学ぶタイ人学生との協働を通して、異文化コミュニケーション力、国際協調性や課題解決能力を養う。	全学	13	2
13	文化交流・産業調査プログラム	ブータン		王立ブータン大学 シェラブツェカレッジ	3/14-3/27	14	豊かな自然の保護と伝統文化の維持のために、積極的に努力するブータンの現状を視察し、ブータンの特徴と課題への理解を深める。現地の大学教員・学生との交流を通して、国際協力を推進するために必要なマナーを身に付けるとともに、英語コミュニケーション能力を高める。ブータンの伝統文化は日本との類似点も多いため、日本とアジアへの理解を新たな視点から見直す機会とする。	全学	2	2	
14	グローバル教養型	日本とタイのグローバル人材育成に関する調査と比較研究	タイ		アサンプション大学 チュラロンコン大学	2/10-2/24	15	日本とASEAN諸国のグローバル人材育成教育について比較調査・研究を行う課題探究プロジェクトの一環として実施する。タイでは、「ASEANの経済統合」のテーマのもと、高校、大学及び現地企業等を訪問し、同テーマが国際教育にもたらす影響を多角的に捉えて調査・研究、分析することを通じて、日本が育成を進める「グローバル人材」やその取組について再考し、現状理解及び課題認識を深める。	国際地域学部 U1 (平成29年度後期 「課題探究プロジェクト 基礎B」科目履修生)	23	2
15		グローバル産業人材育成プログラム	タイ		タマサート大学	2/21-3/8	16	タイの文化や社会背景について学ぶ講義、フィールドワークへの参加や、タマサート大学生とパティを組み寝食を共にすることを通じて、異文化適応能力を養う。また、パティの協力のもと、日本企業が多く進出するタイの産業経済に関するテーマ調査を行うことで、将来グローバル経済社会で活躍するための広い視野と能力を身に付ける。	全学	30	2

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣/連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
16		ロシア・イルクーツク州立医科大学 医学部派遣	ロシア		イルクーツク州立医科大学	5/20-6/17	29	本学以上に多い症例数の大学病院で脳神経外科の手術を中心に研修する。午前中は脳神経外科外来見学、午後は手術室で手術を見学し、術法についての詳細な知識を身に付ける。主に脊髄・脊髄外科に関する知識・技能を習得するとともに、ロシアの医療教育システムならびに地域医療システムについて学ぶ。また、ロシア語基礎講座(大学内講義)や文化的な研修も行う。非英語圏で英語を使用し、現地及び他国からの医学生、医師との交流を通して、共産国という異文化の中で日本の位置付けを理解する。	医学 (医学科)	1	280h
17		アジアスチールブリッジコンペティション2017への参加を通じたグローバルイマジニアの育成	台湾		国立中央大学	8/14-8/19	6	学生自らがオリジナルの橋梁を設計・製作し、アジアブリッジコンペティションにて英語でプレゼンテーションを行う。架設速度、構造パフォーマンス、美観、プレゼンテーション力など、総合的な技術力の高さをアジア各国からの大学生チームと競う中で、創造性の育成、問題解決能力の向上、国際的な交流を図る。また、テクニカルツアーへの参加を通して、台湾の地震に対する対策や姿勢、ダムなどの土木構造物についても学ぶ機会を持つ。	全学	7	1
18		IFMSA Research 交換留学プログラム (ルーマニア)	ルーマニア		カロール・ダヴィラ医科薬科大学	8/16-9/18	34	カロール・ダヴィラ医科薬科大学附属病院の医局(救急病理学)に1ヶ月間配属され、様々な病理組織を実際に見ながら各症例について議論したり、剖検への立ち会いなどを行う。医学的知識を英語で学修し、日本及び海外の異なる見識を交えた意見交換により新知見を得る。双方の特長を互いに認め合い学び合う有効な異文化・医学交流を通して、コミュニケーション能力ならびに異文化理解力を養い、さらには今後の学習において多角的に研究を行う素養を身に付ける。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	2
19		海外研究機関における基礎医学実習 (タイ)	タイ		タイ王国中央胸部疾患研究所 産業衛生環境開発センター	8/17-8/25	9	タイの胸部疾患研究治療の拠点である中央胸部疾患研究所で労働者へのスクリーニング・サーベイランスの現状を学ぶ。またラヨン州産業衛生環境開発センターにて1次医療現場や工業団地・化学工場の見学を行い、労働衛生に関する取組やラヨン州におけるモニタリングの現状等を知る。これらの活動を通してタイにおける公衆衛生・労働衛生の現状と問題点を理解し、日本の公衆衛生・労働衛生の歴史と現状から比較を行い、知識を深める。	医学 U3 (医学科)	3	144h
20		トルコ・オンドクズマス大学医学部派遣	トルコ		オンドクズマス大学	8/19-9/21	34	国際学会(脳神経外科)へ参加後、病院見学、研究実習を通して、トルコの医療教育システムならびに地域医療システムについての知見を深める。また、トルコの医学生、医師との交流を通して、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指す。大学の基礎トルコ語講座を受講し、イスラム国という異文化への理解を深め、国際的な場での柔軟な思考力と適切なコミュニケーションスキルを涵養する。	医学 U3 (医学科)	1	144h
21		海外研究機関における基礎医学実習 (サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所)	アメリカ		サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所	8/21-9/16	27	PCRやサブローニング、ウェスタンブロッティング、免疫組織化学染色、マウス動物実験の手法を身に付け、分子生物学的な手法や科学的な研究アプローチのノウハウを習得する。分子生物学研究と神経科学の最先端研究を英語圏で体験することで、新しい科学的発見に貢献できる医学研究者を養成する。滞在中は、一般家庭でのホームステイにより、英語コミュニケーション力と異文化理解力を強化する。	医学 U3 (医学科)	3	144h
22	専門分野型	ロシア・イルクーツク州立医科大学 医学部派遣	ロシア		イルクーツク州立医科大学	8/25-9/19	26	本学以上に多い症例数の大学病院で脳神経外科の手術を中心に研修する。午前中は脳神経外科外来見学、午後は手術室で手術を見学し、術法についての詳細な知識を身に付ける。また、ロシア語基礎講座(大学内講義)や文化的な研修も行う。主に脊髄・脊髄外科に関する知識・技能を習得するとともに、ロシアの医療教育システムならびに地域医療システムを学ぶ。また、非英語圏で英語を使用し、現地及び他国からの医学生、医師と交流し、共産国という異文化の中で日本の位置付けを理解する。	医学 U3 (医学科)	2	1
23		IFMSA Research 交換留学プログラム(タイ)	タイ		チュラロンコン大学記念病院	8/31-9/28	29	チュラロンコン記念病院にて研究室(寄生虫)に所属し、サンショウバエの寄生虫のPCR法による解析を通して、実験手法や実験用機械の原理を学ぶ。また、寄生虫に感染した患者の訪問や、サンショウバエの解剖による解析も行う。日本及び海外の異なる見識を交えた意見交換により新知見を得るとともに、双方の特長を互いに認め合い学び合う異文化での医学交流を通して、コミュニケーションならびに異文化理解力を養う。さらには今後の学習においても多角的に研究を行う素養を身に付ける。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	2
24		IFMSA Research 交換留学プログラム(台湾)	台湾		長庚大学	8/31-9/29	30	長庚大学の研究室(微生物学・免疫学)に1ヶ月間配属され、「喘息動物の肺へのウイルスベクターに基づく遺伝子送達」の研究を行う。生物学研究の基礎となる様々な実験手法を学習し、プロジェクトに関するデータ分析を行う。これらを通して、研究の準備計画を立て、正確な手順で実行するという一連のプロセスを実地体験する。また、現地学生との交流を通して台湾の文化、習慣などについて学び、英語でのコミュニケーション能力の向上も目指す。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	2
25		IFMSA Research 交換留学プログラム(クロアチア)	クロアチア		ザグレブ大学	8/31-9/30	31	ザグレブ大学の研究室(組織学)に1ヶ月間配属され、脳卒中に罹患したマウスの組織学的分析を行う。研究室の見学を通して様々な設備の使用法や新しい実験手法を学び、現地の研究者に指導を受けながら組織学に関する医学的知識を身に付けることで、今後の学習においても学習したテーマとの関連性を考えながら多角的に研究を行う素養を深める。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	2
26		シーナカリンウィロート大学との交流プログラム	タイ		シーナカリンウィロート大学	9/4-9/14	11	MATLABを使って、画像処理等の情報処理プロジェクト開発を体験するほか、電気・情報系研究室を訪問し、施設・研究内容の調査や教員・学生との交流を通して、専門分野の基礎知識・技術を習得する。また、スポーツ研修やタイ文化体験、歴史・文化施設の視察等により、タイ文化を学び、現地学生との交流を深める。これらを通して国際的感覚を養成する。	工学 U3,U4,M1 (電気・情報系)	7	1
27		英国の医療と高度実践看護研修	イギリス		バーミンガム市立大学 レスター大学附属グレンフィールド病院 コベントリー&ワーウィック大学病院 セントクリストファーズホスピス	9/12-9/21	10	大学附属病院やホスピスでの見学実習や授業参加により、それぞれの領域における専門的医療・看護の実践について学ぶとともに、現地学生との交流を通して学習に対する姿勢や意欲に触れ、今後のモチベーション向上に繋げる。特に英国と日本における健康保険制度と医療サービスの特徴を理解し、各国の制度及びシステムにおける最高・最善の医療の提供について考察できることを目指す。	医学 (看護学科)	10	1
28		チェンマイ大学との医学研修交流	タイ		チェンマイ大学	9/15-9/21	7	チェンマイ大学及び大学附属病院において、授業の聴講や病院見学、医学実習を行う。また、大学関連医療機関への見学及び医療研修への参加を通して、熱帯地域の特異な感染症や疫学について実地で見聞を深め、現地の医療事情について理解を深める。また、プログラムの計画・実施を主体的に行うことにより、自主性や問題解決能力を養成する。	医学 (医学科)	5	1
29		大学院教育プログラム-スプリングプログラム	中国		上海理工大学	3/8-3/21	14	本学大学院工学研究科への進学を予定する工学部4年生及び工学研究科生等を対象とした、大学院における国際性豊かな高度技術者育成のための導入教育。初級中国語・中国文化講座、英語・日本語による工学系専門講義、海外企業経営・技術論講座、海外インターンシップ等への参加を通して、語学力と異文化理解力の向上ならびに実践的・国際的な思考力の育成を目指す。	工学 U4以上及び短プログラム修了生 (本学大学院工学研究科進学予定者)	15	6
30		フィンドレー大学短期教育研修	アメリカ		フィンドレー大学	8/28-9/15	19	近隣の公立学校やフィンドレー市内の日本語補習校で授業参観・実習等の教育実践活動を行うと共に、フィンドレー大学の授業にも出席する。学校体験については、フィンドレー大学の教員養成プログラムの中で実施されている学校インターンシップのノウハウを生かした取り組みを行うことで、外国における教育の現実について理解し、自国の教育を相対化することを目指す。また、日本の文化について新たな視点で見直し、外国で協働することを通して、表現力の向上も目指す。	教育地域科学部 学校教育課程及び教育学部	2	2
31	実践・インターンシップ型	長期インターンシップ	タイ		アジアスカラズ大学	10/1-11/24	55	ASEAN地域において大規模な製造系の工場を保有するBangkok Grass社において、タイ企業の現地生産のシステム及び経営手法・管理手法を学ぶ。日本企業とタイ企業の労働環境や形態の相違点について理解を深め、今後さらに日本からの市場が拡大すると考えられるタイにおける国際的な企業経営に必要な観点について考察を深める。学生自らが、現実的課題のなかから問題を見つけ出し取り組み能力のある国際的専門人材を育成することを目標とする。	工学 M1,M2	2	4
32		Academic Internship in NCSU	アメリカ		ノースカロライナ州立大学	10/8-12/13	67	米国において最も組織的研究・教育に注力しているノースカロライナ州立大学の研究室に滞在し、研究生活を体験する。また、先方の研究室の学生のサポートを受けながら課題実験に取り組みとともに自身の修士論文研究の内容について説明する機会を持つ。以上の経験を通して、グローバル人材として必要とされる専門知識ならびにコミュニケーション能力を含むジェネリックスキルを高めることを目的とする。	工学 M1 (受入教育機関に連関する卒業研究を行った経験者)	2	2

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣/連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
33	研究・発表型	フォトニクス分野に関する国際学会または学生支部大会への参加及び大学への訪問を通じた教育研究交流	アメリカ		カリフォルニア大学リバーサイド校	8/4-8/18	15	光工学やフォトニクス分野の世界的権威である国際光工学会の学生大会へ参加し、リーダーシップや組織運営などに関する講演を聴講するほか、他大学の学生とグループ討論や発表を行う。また、関連する学生支部のある大学を訪問し、支部相互の紹介や運営に関する相談、研究紹介などの教育研究交流を行うことにより、グループワーキング力や交渉力、実行力を身に付け、高度専門職業人としての専門性や創造性を高める。	工学 (光工学・フォトニクス分野が専門の学生)	4	2
34			アメリカ		ジョージ・ワシントン大学	9/16-9/29	14			異なる研究分野間でのグローバル人材育成	工学 U4以上 (工・薬・材料化学)
35		中国		天津工業大学	8/20-8/30	11	バイオデバイス、ナノ材料、細胞工学など、敢えて自分の専門とは異なる分野の研究室に滞在し、現地学生とともに実験やディスカッションを行う。日々の研究活動や発表会への参加を通じて、論理的に思考し、発表するプロセスについて学ぶ。また、異なる研究分野の知識・背景を持つ現地学生との議論を通して、自分自身の研究への理解を深め、その後の研究活動に対するモチベーションの向上に繋げる。	4	2		
36		台湾		国立成功大学	9/3-9/19	17		2	2		
37		マレーシア		マレーシアアトラ大学	9/4-9/14	11					
38		中国		浙江理工大学	9/11-9/20	10		2	2		
39		原子力人材の国際性向上事業	ベルギー		ベルギー原子力研究センター	10/1-12/27	88	ベルギー原子力研究センターにおいて、放射線生物学を専門とする研究室に所属し、化学線量計測の技術向上を目指して「添加剤を用いた放射線感度の制御に関する基礎的検討」の研究を行う。研究テーマに関する知識・技術の修得、実験の実施及びスーパーバイザー等との議論により専門分野の理解を深め、日本での研究との比較を行うとともに、実践的な英語コミュニケーション能力や問題解決能力を養う。	工学 (原子力・エネルギー安全工学専攻、学業成績が優秀で人物等に優れている者)		
40			オランダ		デルフト工科大学	10/31-2/26	119			デルフト工科大学において、原子炉物理学の数値解析を専門とする研究室に所属し、コンピュータによる放射線線送方程式の有限要素解析手法について学びつつ、作成中の計算コードの精度向上、計算方法の改良を目的とした研究を行う。設定した研究テーマの専門知識の習得と理論について理解を深めるとともに、英語によるコミュニケーション能力とディスカッション能力の向上を目指し、問題改善と解決への提案を行う能力を涵養する。	1
41	西安オータムプログラム	中国		西安理工大学	11/1-11/10	10	西安理工大学にて開催される修士学生向けの研究課題中間報告会にて、自己の研究を英語で発表することで、実践的な英語力とプレゼンテーション力を習得し、現地学生の研究や研究に対する姿勢を知る機会とする。また、初級漢語や中国事情等の講義、文化施設や現地企業等へのフィールドトリップを通して、中国の歴史・文化にも触れ、異文化理解を深める。	工学 U4,M1,M2	9	2	
42	テラヘルツ波について学ぶ実践的教育研究研修プログラム	フィリピン		フィリピン大学物理学研究所	11/5-12/5	31	フィリピン大学物理学研究所にて受入先教員・研究者の指導のもと、課題研究に資する共同研究、共同実験を計画、実施する。また、受入れ先教員の集中講義や留学生向けの短期英語コースを受講し、最終的には課題研究成果発表報告を行う。フィリピン国際研究所やデ・ラ・サール大学理学部を訪問し、現地の教員・学生との交流を通じて日本の大学と海外(東南アジア)の大学との教育研究環境、学生の意識、文化の違いを学び、国際感覚を身に付ける。国際的に活躍できるエンジニアとなるための基礎能力、素養を養成する。	工学 M1以上 (物理・電気、一定レベルの英語力を有する者)	3	2	